

いのちの水を守る市民の会 ニュース no.1

9月17日のPFAS学習会で「PFASからいのちの水を守る各務原市民の会(略称;いのちの水を守る会)」の立ち上げを報告し、会員にどの呼びかけに応えてくださってありがとうございます。

あれからもう2月が経とうとしています。

共産党市議団の「血液検査を希望者に行え」という交渉に、市は行わないと即答。国も「行わない」と続きました。その後の様々な交渉にも、態度は変わりませんでした。市民の健康に向き合うことが行政の仕事である筈です。ですから本来ならば、市や県・国が行うべきことだと考えます。

みどり病院と京都大学の協力、申し出によって血液検査が行われる事になり、9月17日に10月14日説明会10月21日血液検査実施と報告がありました。

健康実態を掴むために、この血液検査に 許される枠一杯に参加してもらう事が重要だと、「いのちの水を守る会」の発起人(共同代表者)は考えて行動してきました。

血液検査無事終了 20代~90代 約130人採血



混雑を避け、みどり病院から事前に知らされた時間帯毎に、14時から受け付けが始まりました。

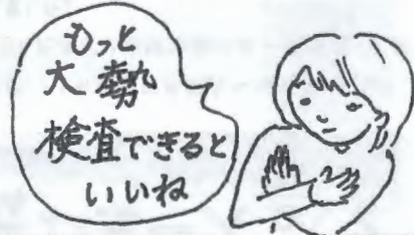
本人確認、血圧、身長、体重を測り、血液検査へ。

16時30分ころ終了。

マスコミの取材もあり、関心の高さがうかがえました。

市に

申し入れをします



文責 いのちの水を守る会共同代表 今尾明美 電話・ファックス 058-383-3674

11月17日14時30分 4F

「PFASからいのちの水を守る各務原市民の会」発足時の要件に基づき、市に申し入れをします。申し入れ事項は、いのちの水を守る会初のチラシ「浅野市長の責任を問う」にある提言6項目です。

副市長・水道部長・健康福祉部長が対応されるということです。

また水道料金に関しては、議会に請願書も出したいと思います。

お寄せください あなたの思いを、考えを、

おんほい
何を
決める
よう

浅野市長は会見で悪びれる様子もなく、「活性炭の効果により、9 ng/l になった。今後新しい浄化施設を建設する予定だ」と発表。
水への不安はひとまず安心と、終わって良いのでしょうか。
各務原市でも起きた水問題。

不信

ほかに...

二年半前に解決できた...

有害な水を飲ませてきた責任は?

他府県市町村との違いは、市長、副市長は高濃度で汚染されていることを知りながら、市民に隠してほぼ何もすることなく、有害な水を市民に飲ませ続けたことです。

血液検査の結果は1・2ヶ月後に公表されます。その結果を待って市に、より広く血液検査を迫ることも出てくると思います。

皆さんの忌憚のないご意見・思いをお寄せください。

お願い

- ★会を広め、お誘いください。
- ★チラシと一緒に配る方、ご一報ください。
- ★カンパをお願いします。

「PFASからいのちの水を守る各務原市民の会」入会申込書

氏名	
住所	〒
電話	
メール	

下のQRコードから申し込めます

